

## 家族の同意とアレルギー

ペットを飼うのに、家族の理解と協力は不可欠です。あなたが突然の病気やアクシデントに見舞われたときも、家族が協力してくれれば切り抜けることができます。

また、犬など、群れで生活する習性をもつ動物は、家族は自分の群れのメンバーと考える傾向があります。家族の誰かが自分を嫌ったり無関心でいることは、ペットにとって大きなストレスになり、問題行動の原因となることもあります。

ペットを飼うには、家族のメンバー全員が動物好きで、飼うことに同意している必要があります。

ペットを飼い始めたら、喘息や皮膚の湿疹など、家族にアレルギー症状がでたというケースがあります。家族にアレルギー体質の人がいる場合は、動物の毛やふけ、排泄物などにアレルギー反応を起こす可能性があるため、飼う前に医師に相談するなど慎重な判断が必要です。

### ポイント3

- あなたの家族は全員動物を飼うことに賛成していますか？

### ポイント4

- 家族に動物に対するアレルギーを持っている人はいませんか？



## 世話をする時間と体力

ペットは生きていくための全てをあなたに依存しています。毎日の食餌、排泄物の始末、清掃、運動、散歩や遊び、しつけ、健康管理などしなくてはならないことはたくさんあり、これらをこなす時間と体力が必要になります。

特に、鳴き声、臭い、糞の放置は、多くの地域で近隣トラブルの元となっています。近隣に迷惑をかけないために、糞の始末はもちろん、適切なしつけや防音対策などもしなくてはなりません。

二人暮らしの熟年夫婦が、新しい家族としてペットを飼うような場合は、自分たちが歳を重ね、ペットも老いた時の世話や介護のことも考えて、種類や大きさを選んでください。子どもにせがまれてという場合は、ペットが成長しても子どもに世話ができるかどうか、また、子どもの進学、就職、転居などで、結局は親が世話をすることになるケースが多々ありますから、そのことも考慮する必要があります。

癒しやかわいさなどペットから得られるものばかり期待して、世話は面倒だと思ふのなら、ペットを飼い始めるべきではありません。

### ポイント5

- 毎日欠かさず世話に時間と手間をかけられますか？

### ポイント6

- あなたの体力で世話ができるペットですか？

### ポイント7

- 近隣に迷惑をかけないように配慮できますか？

